



四国大学は、これまでの 100 年を礎に、これからの 100 年を創造します。

報道関係者 各位

令和 6 年 1 月 15 日

四国大学／四国大学短期大学部

学長 松重 和美

## 講演会「地方の文芸文化のあり方を考えるシンポジウム」

### 開催について

平素は本学の教育研究活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、令和 6 年 1 月 21 日（日）、四国大学交流プラザにおいて、学際融合研究所新あわ学研究部門主催の特別講演会「地方の文芸文化のあり方を考えるシンポジウム」を開催する運びとなりました。

日本大学芸術学部准教授 谷村 順一氏をお招きし、「東京と（いう）地方」というタイトルで基調講演を賜ります。また、シンポジウムでは、俳人の西池 冬扇氏、歌人の田丸 まひる氏をパネリストとしてお招きし、文芸活動の成果や問題点についてご議論いただきます。

つきましては、次のとおり開催いたしますので、開催告知および取材等ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

#### 記

- 日 時：令和 6 年 1 月 21 日（日）
- 開 場：13 時 00 分
- 開 演：13 時 30 分（15 時 10 分頃閉会予定）
- 場 所：四国大学交流プラザ 5 階フォーラムホール
- ※会場に駐車場はありませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。
- 参加費：無料／予約不要
- 定 員：100 名（先着順）

＜本件に関する問合せ先＞

四国大学 学部運営支援課

TEL: (088)665-9909（平日 9～17 時）

徳島から全国へ発信

# 地方の文芸文化の あり方を考える シンポジウム

徳島において文芸文化を今後一層振興し、のみならず全国に向けて発信する、そのような活動に地域の大学がどのように貢献できるのか。地方文学や同人雑誌の歴史を研究する日本大学芸術学部の谷村順一先生をお招きし、未来への展望を考察するシンポジウムを四国大学学際融合研究所新あわ学研究部門が開催します。

2024年 **1月21日(日)**

定員

**100**名  
(先着)

開場 13:00 開演 13:30

四国大学交流プラザ 5 階フォーラムホール

徳島市寺島本町西2丁目35-8 ホテルグランドパレス徳島の正面

※会場に駐車場はありませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

第1部 ▶13:30～

基調講演

## 東京と(いう)地方

「東京」と「地方」は一見対立しているようにみえます。

しかし「東京」もまたひとつの「地方」であるという観点から、文芸同人誌を手がかりとして、いま小説を読む／書くことについて考えます。



谷村 順一 氏

(日本大学芸術学部准教授)

プロフィール

1973(昭和48)年、東京生。日本大学大学院芸術学研究科博士前期課程修了。2014 年より『季刊文科』で「同人雑誌季評」、『文藝年鑑 2017』『文藝年鑑 2018』『文藝年鑑 2019』の「概観 同人雑誌」の欄を担当。日本文学協会会員。

第2部 ▶14:30～

シンポジウム

## 発見、徳島の文芸文化

徳島を拠点に活動している作家や歌人、詩人のかたをお招きし、それぞれの観点からご意見をいただきます。

パネリスト

西 池 冬 扇 氏 (俳人)

田 丸 まひる 氏 (歌人)

佐々木 義 登 (四国大学文学部教授)



つむぐ、つながる、はばたく  
SHIKOKU UNIVERSITY  
1925▶2025 100th Anniversary

主 催：四国大学学際融合研究所・新あわ学研究部門

お問い合わせ：四国大学 学部運営支援課

TEL 088-665-9909(平日 9:00～17:00)